

福祉用具編③

車椅子

例えば…

- ・歩くことが難しい
- ・歩き続けると力が入ってしまう
- ・座る姿勢を保つことが難しい



こんな目的があります！

- 移動の確保
- 変形の予防や過剰な筋肉の緊張の軽減
- 座位姿勢の経験

こんな理由で使っています！

- ・お子さんの移動範囲が広がることで、より多くの経験をする機会が増える。
- ・自走式の場合、お子さんの意思で移動できる達成感が得られる。
- ・介助者の負担が軽減される。
- ・長時間好ましい姿勢を保つことが出来る。
- ・筋肉の緊張を過剰に高めない姿勢を設定することが出来る。
- ・身体を起こして座った姿勢になることで、首や体幹など筋肉が働きやすくなる。
- ・重力の影響で、呼吸がしやすくなる。

乗せ方

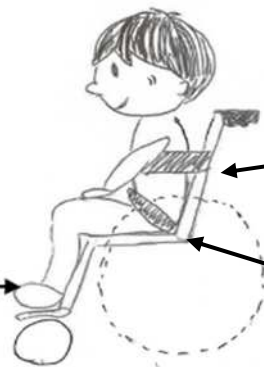
- ①乗せた後に、後方から脇の下などを持って引き上げて、お尻を奥に入れる。
- ②フットプレートに足を乗せ、前方から骨盤の傾きを調整する。
- ③ベルトをとめる。



骨盤を上から見た図
傾いている時は調整する。

付属しているテーブルや
クッション類は毎回使用する。

足は靴を履いて、
フットレストの上に置く。



ついているベルトは
全部とめる。

お尻は奥までしっかり入れる。

見方のヒント

- ・お子さんの身体状況や環境面によって、使用する目的が異なります。
- ・使用時間や場面・使用方法が分からないときや、小さくなったか心配な場合などは、担当のリハビリ職員に相談してください。